

◆旧上瀬谷通信施設の土地利用検討経過

平成18年6月 米軍施設返還跡地利用指針 …… 学識経験者等を委員とする検討委員会の提言から当地区の方向を整理

- 広域の防災活動拠点・広域機能の立地
- 「緑」を享受する首都圏郊外の自然レクリエーション空間
- 持続的で魅力ある都市型農業の振興
- 交通利便性の向上に資する基盤整備

瀬谷区・旭区

平成26年度 瀬谷区 上瀬谷通信施設跡地利用アンケート

民有地の地権者

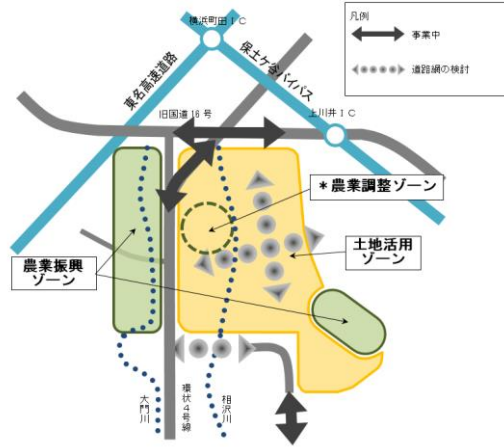
返還前から上瀬谷、上川井農業専用地区協議会が勉強会を実施（～平成29年度上半期まで）

平成27年6月30日 返還

平成27年7月 瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会設立
（地区連長により組織。以下 瀬谷区対策協）

平成28年4月 跡地利用ゾーン案

土地利用を
二つのゾーンで整理
① 農業振興ゾーン
② 土地活用ゾーン



跡地利用ゾーン案の考え方を提示

○ 跡地利用の方向性
郊外部の再生に資する新たな活性化拠点をめざす

- **農業振興ゾーン**
都市型農業推進のため、農業基盤整備等を積極的に進める
- **土地活用ゾーン**
防災、公園、道路、その他の機能・施設を主に導入していく

平成28～29年度 瀬谷区対策協・旭区区連会において
土地利用の検討状況の共有・意見交換

平成29年11月 旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会設立
（民有地の地権者により組織）
将来の農業振興と土地活用のあり方を検討

平成30年5月
今後の検討の方向性としての
土地利用基本計画（協議会・横浜市素案）
テーマ
「みらいまで広がる
ヒト・モノ・コトの行き交うまち」
土地利用の三要素を整理
① 農業振興
② 活力創造
③ 公共・公益

具体化を検討する機能・施設の例示を提示

■ 農業振興	活力ある都市農業の展開
■ 活力創造	産業振興や賑わいや交流を促進
■ 公共・公益	本市を含む広域的課題や地域の課題を解決 ・ 公園 ・ 防災施設 ・ その他公共公益施設（公園型墓園、医療・福祉等）

平成30年度～ 瀬谷区対策協・旭区区連会において
土地利用の検討状況の共有・意見交換
令和元年5月 瀬谷区対策協として区民アンケート

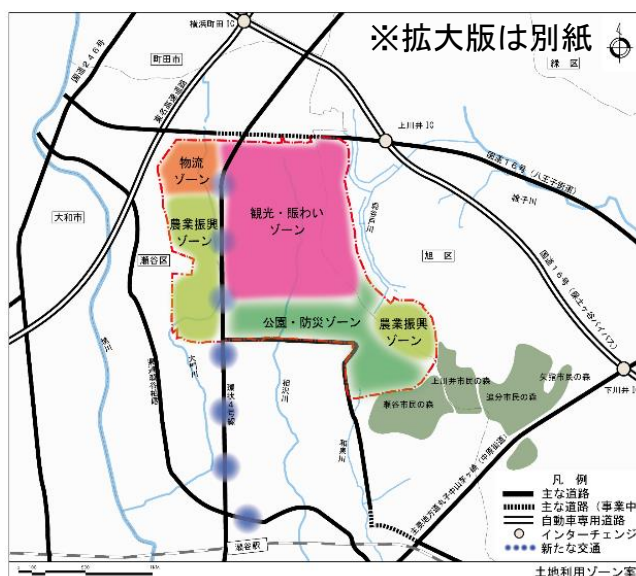
平成30年度～ 土地区画整理事業の具体化に向けた検討
民有地の利用の可能性を検討

ゾーン選定に向けた視点

- 横浜市の持続的な成長・発展の実現 → 魅力の発信と交流人口増に向けた取組を推進
- 当地区で求められる機能 → 農業振興、公園・防災、観光・賑わい、物流
- 地権者の中で不公平感を出さない土地活用 → 大区画化による民有地の共同利用、早期の土地活用

令和元年6月 土地利用ゾーン案を提示

- ① 農業振興ゾーン
（概ね50ha）
- ② 公園・防災ゾーン
（概ね50ha）
- ③ 観光・賑わいゾーン
（概ね125ha）
- ④ 物流ゾーン
（概ね15ha）

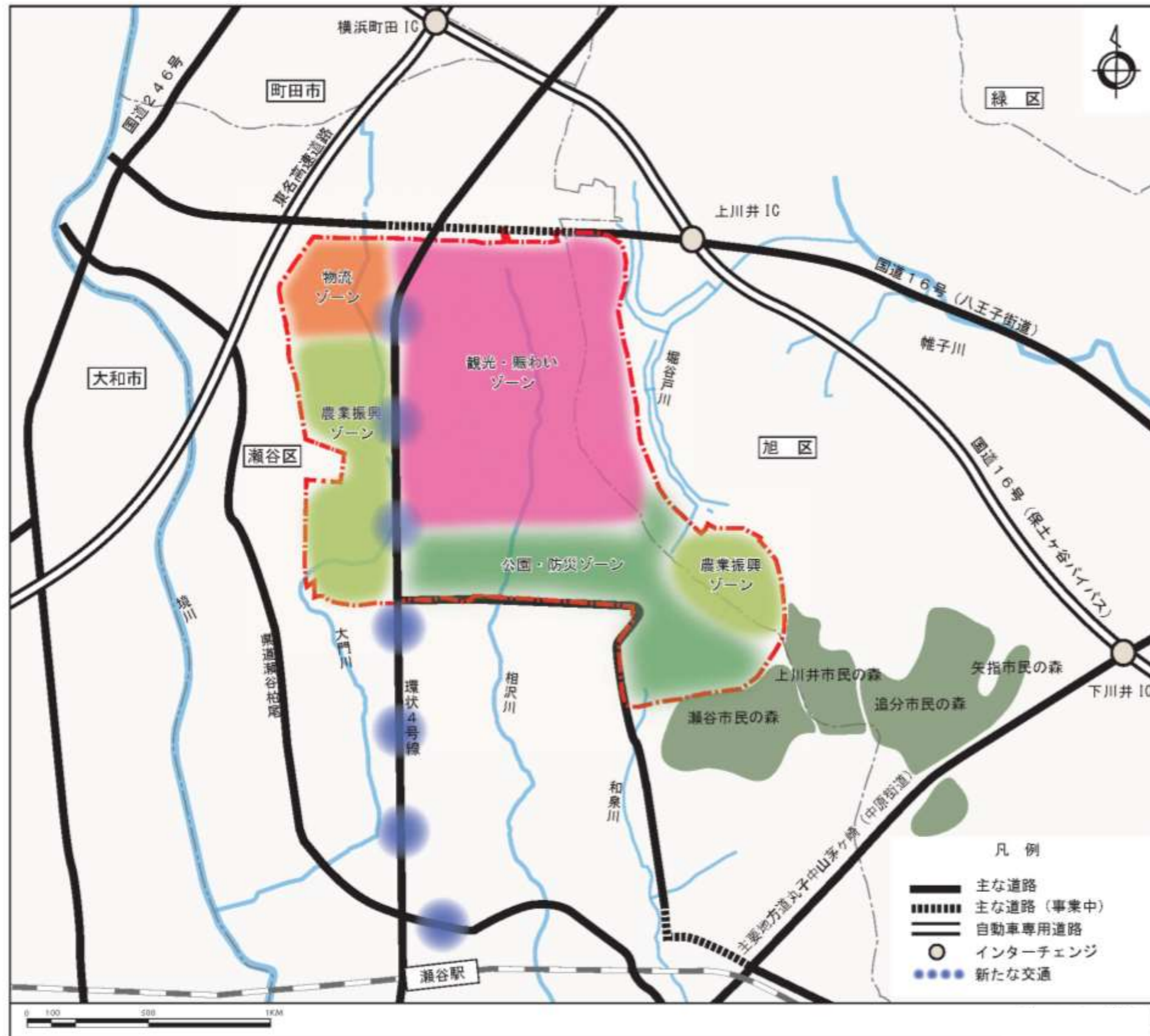


今後の取組

- 旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会の検討内容を整理
- 瀬谷区対策協・旭区区連会からの意見を整理
- ↓
- 土地利用基本計画案とりまとめ公表
計画案への市民意見募集
- ↓
- 土地利用基本計画策定
土地区画整理事業の事業化を推進

土地利用ゾーン案

(民有地の地権者で組織されたまちづくり協議会と検討中のもので、確定したものではありません。)



農業振興ゾーン【ゾーン面積：概ね 50ha】

現在のまとまりのある農地を生かしながら公園との連携も想定し、公園東側及び環状4号線西側に配置します。規模は、市の政策や現時点での土地所有者の意向を踏まえ想定したものです。

公園・防災ゾーン【ゾーン面積：概ね 50ha】

瀬谷市民の森からのみどりのつながりを考慮し、本地区の南側に配置します。規模は、招致を目指す国際園芸博覧会会場の跡地として、広域的に利用される公園と位置付けられることを想定したものです。

また、本ゾーンは大規模地震等発生時には、消防、警察、自衛隊等の応援部隊の受援施設等を備えた広域応援活動拠点としての機能を想定しています。

観光・賑わいゾーン【ゾーン面積：概ね 125ha】

東名高速道路や保土ヶ谷バイパスからのアクセスや、大規模の賑わい施設の進出を想定し、地区北側、環状4号線の東側に配置します。規模は、大区画化による土地利用を前提に、集客力が高い施設を誘致し、賑わい振興を図ることを踏まえ想定したものです。

また、観光・賑わい等へのアクセス強化のため、周辺の道路機能の強化を図るとともに、瀬谷駅を起点とした新たな交通を検討します。

物流ゾーン【ゾーン面積：概ね 15ha】

幹線道路へのアクセスを考え、東名高速道路、環状4号線、八王子街道に囲まれた場所に配置します。規模は近年の物流施設の大型化、高機能化を踏まえ想定したものです。